

第126回(令和3年10月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

職種マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	職種CO	長整数型	1
	職種名	テキスト型	営業

※職種マスタ.csvの1行目は項目名とする。

試験結果テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
	名前	テキスト型	半田 裕二
	職種CO	長整数型	3
	点数	長整数型	30

<処理条件>

社内研修の試験で、点数が90点以上の試験結果一覧表を作成する。

- それぞれの職種COを関連付けしなさい。

<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

点数が90以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：5件]

- 表を作成しなさい。

表題は“試験結果一覧表（90点以上）”とする。

データの並び順は点数の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

試験結果一覧表（90点以上）				
社員CO	名前	職種名	点数	
106	若林 陽向	事務	90	
	}			
105	宇野 美花	事務	100	

第126回(令和3年10月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

支店マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	支店CO	長整数型	11
	支店名	テキスト型	新宿
	エリアCO	長整数型	1

※支店マスタ.csvの1行目は項目名とする。

エリアマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	エリアCO	長整数型	1
	エリア名	テキスト型	東京

※エリアマスタ.csvの1行目は項目名とする。

利用テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	利用CO	長整数型	1001
	利用日	日付/時刻型	2021/9/1
	会員CO	長整数型	125
	料金	長整数型	700
	支店CO	長整数型	22

<処理条件>

レンタルスペースのエリア別平均料金一覧表を作成する。

- それぞれの支店CO・エリアCOを関連付けしなさい。
エリアCO・エリア名ごとに料金を集計（平均）しなさい。
料金の集計は“平均料金”とする。
[処理結果件数：4件]
- 表を作成しなさい。
表題は“エリア別平均料金一覧表”とする。
データの並び順は平均料金の昇順とする。
平均料金は整数未満四捨五入の表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

エリア別平均料金一覧表		
エリアCO	エリア名	平均料金
3	埼玉	1,493
	}	
1	東京	2,181

第126回(令和3年10月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	水口 ひかる
	ランクCO	長整数型	4

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

ランクマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	ゴールド
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.1

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	11
	商品名	テキスト型	ウインストリング
	単価	長整数型	1400

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上日	日付/時刻型	2021/4/1
○	顧客CO	長整数型	141
○	商品CO	長整数型	11
	数量	長整数型	2

<処理条件>

- 9月より前のレコードを削除し、ポイント合計が2,000以上の顧客別ポイント合計一覧表を作成する。
 - <売上テーブル>の売上日が2021/9/1より前のレコードをすべて削除しなさい。
[削除件数: 852件]
 - それぞれの顧客CO・商品CO・ランクCOを関連付けしなさい。
売上日・顧客CO・商品COごとにポイントを求めなさい。
 $\text{ポイント} = \text{単価} \times \text{数量} \times \text{還元率}$
[処理結果件数: 163件]
 - 顧客CO・顧客名ごとにポイントを集計（合計）しなさい。
ポイントの集計は“ポイント合計”とする。
ポイント合計が2,000以上を抽出しなさい。
[処理結果件数: 7件]
 - 顧客COをカウントした表を作成しなさい。
表題は“顧客別ポイント合計一覧表（2,000以上）”とする。
データの並び順はポイント合計の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

顧客別ポイント合計一覧表（2,000以上）		
顧客CO	顧客名	ポイント合計
136	大浦 優亜	4,300
	}	
128	宮下 菜月	2,000
顧客数	X人	

第 1 2 6 回(令和 3 年 1 0 月)情報処理技能検定試験(データベース) 1 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB1 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	イーグル
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.05

※顧客マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	11
	商品名	テキスト型	スタッドレス
	単価	長整数型	8000

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

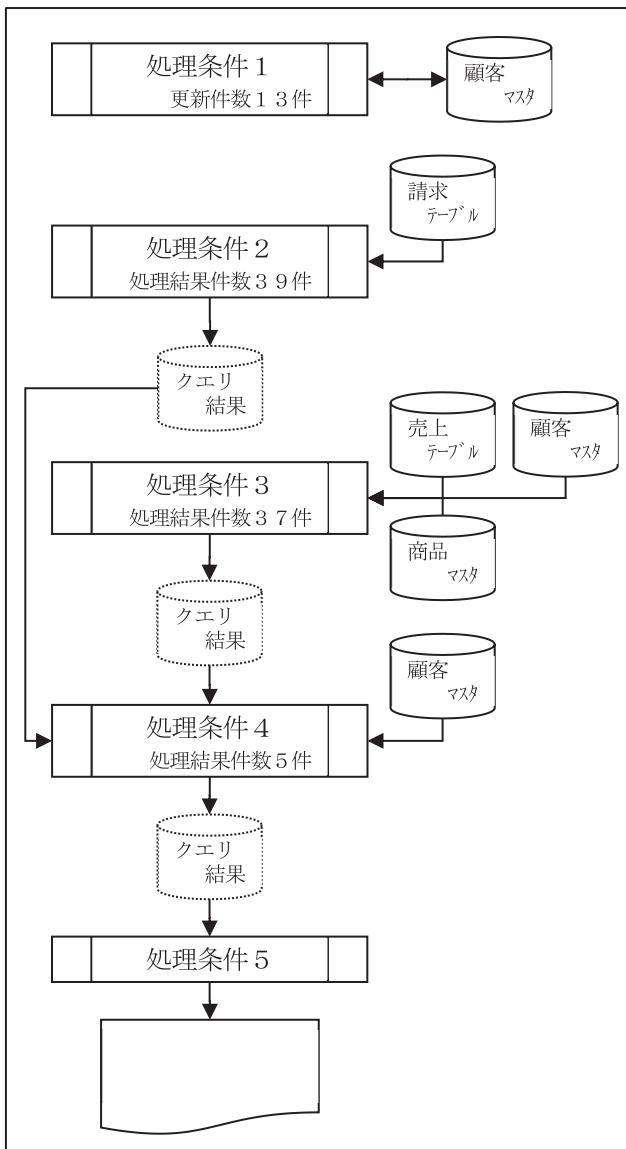
売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2021/9/5
○	商品 C O	長整数型	15
	数量	長整数型	5

請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	101
○	請求日	日付/時刻型	2021/4/5
	請求金額	長整数型	22800

<処理フロー>



<処理条件>

割引率を更新し、前月差が 5 0 万円以上の顧客一覧表を作成する。

- 割引率が 0.01 のレコードの割引率を 0.02 に更新する。
- 顧客 C O ごとに請求金額を集計（合計）する。
請求金額の集計は“請求 8 月”とする。
請求日が 2021/8/1 から 2021/8/31 までを抽出する。
- 顧客 C O ごとに請求 9 月を集計（合計）する。
請求 9 月＝単価×数量×（1－割引率）
- <顧客マスタ>のすべての顧客 C O を含め、前月差を求める。
前月差＝請求 9 月－請求 8 月 ※n z 関数使用
前月差が 500,000 以上を抽出する。
- 表を作成する。
表題は“顧客一覧表（前月差 5 0 万円以上）”とする。
データの並び順は前月差の降順とし、前月差は通貨表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

顧客一覧表（前月差 5 0 万円以上）		
顧客 C O	顧客名	前月差
118	アクシス	¥747,650
	}	
123	佐藤商店	¥500,000